一般の部

中学生以下の部

最優秀賞

「雪の広徳寺」

「あきる野の鏡

ハッカーソン詩音さん

沢井康正さん

第フ回 あきる野フォトコンテ **〜この一瞬に立ち会えた感動を込めて〜**

年で開催されている事業の一つ を目的として、「絵画展」と隔 地域の芸術文化を推進すること 的で魅力あふれるまちづくりと 行委員会との共催により、文化 るあきる野フォトコンテスト実 テストは、教育委員会と市内で いました。あきる野フォトコン きる野フォトコンテスト」を行 /動する写真愛好団体で組織す あきる野市では、「第7回あ

査にあたっては、あきる野の美

審査員のお2人からは、「審

男・角蔵が制作し奉納された絵 再興するにあたって、17歳の次 肥前守景元が村内の山王権現を 年(1589)に引田村の志村 た経緯が彫られており、天正17

馬であることが分かります。

風景・街並み・行事・史跡等の のカメラマンから、秋川流域の 作品21点の応募がありました。 員の小澤太一氏 ((公社) 日本 テーマに制作した写真プリント 1月15日に全応募作品を審査 今回で7回目を迎え、市内外

> 写真家協会会員)、藤森邦晃氏 賞・入選作品として選ばれまし 23点、中学生以下の部6点が入 による審査が行われ、一般の部 (月刊誌「フォトコン」 編集長)

載していますので、ぜひご覧く くるか」など、技術面だけでは のお話が印象深く残りました。 動を大切にして審査をされたと なく、プリントに込められた感 るか」「あきる野の良さ、撮影 がどれだけ作品に込められてい しさ、あきる野で残すべきもの した人の思いや感動が伝わって これらの作品は、市HPに掲



真照寺の猿曳駒絵馬が 京都指定文化財に!

指定理由は、都内における現

を紹介します。

『日々の記憶に留まることの

確かにそこにあり続け、この地 よりゆっくりと変化しますが、 に当たり、空気に触れることに

で何層にも色を重ねていきま

を組み合わせた衣装を着た高地 統的な服装と日本の仮面と甚平

す。自作の和紙だ

態に紙を漉きあげ

ました。自身で、

日然を思う形 そこに木版

されたもので、ポーランドの伝

で〝その時〟を感じ取ることが

まずは、守屋佑香さんの作品

えるために版木として転用され 後に豊蚕を願う村民等にすり与

作当初は絵馬として寄進され、 事例で、戦国時代末期の社会情 存最古の絵馬であり、後に養蚕 信仰の版木に転用された珍しい 大きさ…縦23㎜、横15㎜ 種別…有形民俗文化財 名称…猿曳駒絵馬







降の多摩地 について物 勢や文化事 情、江戸時代以

ました。表面を一段掘下げ、明 19日付けで都指定文化財になり

真照寺の猿曳駒絵馬が、3月

の猿が馬の指縄をひいてひざま 神鳥居を背に、山王権現の使い

には、この絵馬を制作・寄進し づく図が彫られています。裏面

> 指定文化財(文化財です。 真照寺には はほかにも、

表

域の人々の信仰

定文化財の **川があります。** の薬師堂と市指 語る貴重な民俗

ただきました。これは、税知識



非接触型温度計・消毒機

温度計・消毒機10台の寄附をい ら、3月22日(月)に非接触型 の寄附をいただきました 公益社団法人青梅法人会か

ィスト・イン・レジデン 寄贈作品の紹介

平成5年から始まったアーティスト・イン・レジデンスは今年度 で29年目を迎えました。今回は今までの招 平成30年度の招へい者のものについ

> の植物を使い、その色で摺りま ます。あきる野で見つけた自然 から自分の形にして表現してい 動き、不可視のものを自然の形 ない出来事や感覚、感情の揺れ

> > の記憶によっても変化します。』 できます。またそれは、鑑賞者

広がる景色を作り ラや繊維が浮かび

すが、少しずつ異なっており、

三つの影は同じようにも見えま

に住まう人が踊っている姿です。

次は、森島花さんです。

「あきる野で目にした色、空、 川と空気は日々変化を重ね

> ム・ソロチンスキ 最後はポーラン

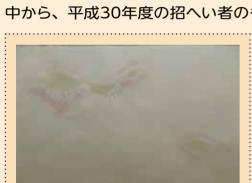
「この木版画は、

浮世絵に触発 ーさんです。 ド出身のアダ だします。』 上がり目前に からできるム

感じられるようになっています。

全性の否定や誕生のプロセスが それと同時に、見ている人に完

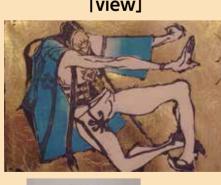
た。この地で植物、色素は陽



守屋佑香さんの作品 [cell iv]



森島花さんの作品 [view]



の作品 「kin (上:部分、左:全体)

アダム・ソロチンスキーさん